

02・03 地域のこと、話してみませんか? 04 成年後見制度のご紹介 05 中部地域包括支援センターだより
06 ボランティアだより 07 幸田町社会福祉協議会職員の募集 08 赤い羽根共同募金のお願い、ご寄付紹介

*新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、掲載されている催し物などが延期・中止となる場合があります。催し物などに参加をする場合はマスクを着用してください。

こつた支え合ひのまち勉強会 —みんながつながり、暮らしやすいまちに—

地域で「あったらいいな」を話し合う場“協議体”が全国で始まっています!
“協議体”は、さまざまな立場の人たちが地域の今を知り合う仕組みです。
もっと住みやすい幸田町を目指して、あなたもこの仕組みに参加してみませんか?

と き 11月1日(火) 午後2時～3時30分

ところ 幸田町中央公民館 ホール

内 容 「目指す地域像の実現に向けた地域の基盤づくり」

対 象 町内在住または在勤者 **定 員** 80人 *先着順

講 師 公益財団法人さわやか福祉財団
ながせ じゅんじ
長瀬 純治 氏

参加費 無料

申込み 10月21日(金)までに、幸田町社会福祉協議会へ電話または
2次元コードでお申し込みください。

電 話 62-7171

手話通訳あります



← 2次元
コードからの
お申し込みは
こちら

“協議体”について
詳しくは
2・3 ページを
ご覧ください!

していませんか？

協議体では、 生活支援コーディネーターが協働します！

地域に出向いて支え合い活動を把握し、地域活動や見守り活動などの企画・運営をサポートします。人と場、人と人、人と支援、思いや心、情報など…さまざまなものをつなぎ、そのつながりを育てていく調整役を担います！

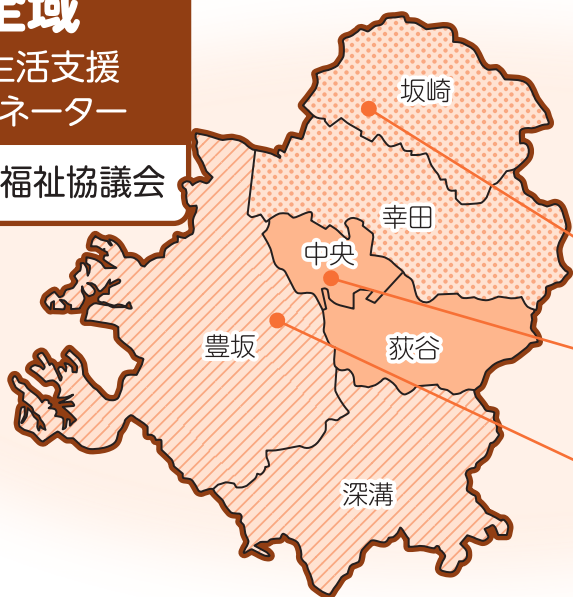


幸田町では、町全域を担当する**第1層生活支援コーディネーター**と、地域包括支援センターのエリア(包括圏域)を担当する**第2層生活支援コーディネーター**が活動しています！

町全域

第1層生活支援
コーディネーター

幸田町社会福祉協議会



包括圏域

第2層生活支援
コーディネーター

北部地域包括支援センター

中部地域包括支援センター

南部地域包括支援センター



協議体をスタートする前に地域の支え合い活動について勉強会を開催します！
詳細は表紙をご覧ください。→

こうした支え合いのまち勉強会を実施した後、包括圏域ごとにメンバーを募集し、協議体を始めます！

問合せ 幸田町社会福祉協議会 電話62-7171

地域のこと、話

住民の声

手伝ってくれる
人はいないかしら



重い物が
運べない人がある

地域に見守り活動が
あると安心だね



最近、姿を
見かけない人がある

気軽に運動できる
場所はないかな



仲間と体操して
健康寿命を延ばしたい

コーヒー・紅茶
サークルを開きたい



自分の特技を地域で生かしたい

パパ・ママが通える
サロンをつくりたい



子どもを遊ばせながら、
親同士で話せる場所がほしい

みんなの「あったらいいな」の実現を目指して
協議体がスタートします！

協議体は、どなたでも参加できます!!

いろいろな立場の人がアイデアを出し合い、話し合いをする場です。
自分たちの暮らす地域について一緒に考えてみませんか??

散歩がてらに
近所の見守りが
できんかなあ

〇〇の地域で
毎朝ラジオ体操を
やとりらしいよ

重い物を
運ぶ手伝いを
してほしいと
言っている人を
何人か知っとるよ

地域の空き家を
活用できるんじや
ないかなあ



協議体のイメージ

成年後見制度のご紹介

自分ひとりではよくわからない
そんなときでも安心して暮らせるために

いろいろな
手続きの仕方が
よくわからない



よくわからずに
契約を
してしまった



何にお金を
使ってしまったのか
思い出せない



成年後見制度とは

知的障がい・精神障がい・認知症などによってひとりで決めることに不安や心配のある人が、いろいろな契約や手続きをするときに、成年後見人などがお手伝いする制度です。



医療や福祉サービスの手続きや
契約が難しくてわからない

わかりやすく説明してくれたり、
あなたに代わって
手続きや契約をしてってくれたりします。

物忘れが多くて
お金をついつい使ってしまう



お金の出し入れと一緒に考えてくれたり、
保険料や税金の支払いを
手伝ってくれたりします。



よくわからないままいらぬものを
買わされそうになる

買うか買わないか一緒に考えてくれたり、
間違って買ってしまったときは
買わなかったことにしてくれたりします。

親が残してくれたお金や家などを
どうしたらよいかわからない



あなたと一緒に遺産の分け方を話し合ったり、
必要があれば土地や建物を
売ったりしてくれます。



成年後見人などがあなたの気持ちを確認しながら、お金の使い方や
いろいろな契約・手続きを助けてくれます。

詳しいことは、厚生労働省のホームページをご覧ください。

幸田町成年後見支援センターの窓口でも制度の内容や手続きに
ついてご説明いたします。どうぞお気軽にご相談ください。



▲厚生労働省ホームページ

問合せ 幸田町成年後見支援センター 電話 62-7171

中部地域包括支援センターだより

「脳いきいきエクササイズ教室」を開催します

「今日が何日だったか忘れてしまった」「物を取りに行ったら、何を取りに行ったらか忘れてしまった」などの心当たりはありませんか?もしかしたら、脳の働きが弱っているかもしれません。この教室で「脳」を活性化させて、笑顔で楽しく暮らせる生活を目指しましょう。

- と き** 11月1日～令和5年2月21日 毎週火曜日
午後1時30分～3時 (全16回)
- と ころ** 岩堀老人憩の家
- 内 容** シナプソロジーメソッドにより「2つのことを同時に行う」「左右で違う動きをする」といった普段慣れない動きを体験して、脳の認知機能の向上を目指します。
- 対 象** 町内在住の65歳以上の人のうち、要介護要支援認定を受けていない人
- 定 員** 15人 *先着順
- 講 師** シナプソロジーアドバンスインストラクター
- 参加費** 300円(初回1回のみ)
- 申込み** 10月3日(月)から24日(月)までに、中部地域包括支援センター(電話62-7331)へお申し込みください。

「認知症サポーター養成講座」受講者募集

認知症サポーターは、認知症の人やその家族の地域での「応援者」です。
認知症になった人が地域で安心して暮らせるように、何ができるか一緒に考えましょう。

- 内 容** 認知症の理解(病気の症状、治療や予防、関わり方など)についての講義
*申込者と日時、場所の調整を行い、当日講師を派遣します。
*講義時間は90分程度です。
- 対 象** 町内在住または在勤者
*5人以上の団体やグループでお申し込みください(地域の集まり、金融機関、スーパー、小売店など)。
- 受講料** 無料
- そのほか** 講座を修了した人には、認知症サポーターカードをお渡しします。
- 申込み** 随時、中部地域包括支援センター(電話62-7331)へお申し込みください。



▲認知症サポーターカード

高齢者や介護に関する悩みや疑問など、なんでもお気軽にお問い合わせください

幸田町中部地域包括支援センター 電話 62-7331

ボランティアだより

ボランティアセンター登録団体の活動紹介

おてらの横 食堂 運営 ▶ こうた環境ネットワーク

こうた環境ネットワークは、これまでごみ分別やごみ問題に関する活動やフードドライブなどに取り組んできました。

現在はさらに活動を発展させ、8月28日(日)、大草西コミュニティホームにて子どもから大人まで幅広く参加することができる地域の食堂「おてらの横 食堂」を開催しました。

食事の提供のほかに寄付された木材を使用したワークショップを行い、参加した子どもたち、手伝いや見学を訪れた地域住民、ボランティアなどが交流し、地域のつながりをつくる場にもなりました。



▲この日のメニュー(ちらし寿司、お吸い物、フルーツ寒天)



▲ワークショップの様子(木材で自由に製作)

次回のお知らせ

●と き 12月25日(日)

午前10時～午後1時30分

●ところ 大草西コミュニティホーム

●定 員 40人(予定) *先着順

●参加費 幼児、小学生、中学生、高校生 無料
大人 300円

●その他

- ・食事のアレルギー対応はしていません。
- ・ワークショップも予定しています。
- ・中止の場合は、こうた環境ネットワーク代表者から申込者に電話で連絡します。

●申込み

11月30日(水)までに、幸田町社会福祉協議会(電話62-7171)へお申し込みください。

また、食品の寄付も募集しています。ご自宅で眠っている食品があれば「もったいない」を「ありがとう」へ変える活動にぜひご協力ください。

○ 寄付してほしい食品

- ・お米
- ・缶詰(肉、魚、野菜、果物など)
- ・レトルト食品(カップ麺、カレーなど)
- ・乾物(パスタ、うどん、蕎麦など)
- ・ギフト(お歳暮、お中元などの余剰品)
- ・お菓子
- ・調味料
- ・飲料(ペットボトル飲料、缶ジュースなど)
- ・乳幼児用食品(粉ミルク、離乳食など)

× 寄付できない食品

- ・賞味期限が明記されていない食品
- ・賞味期限が1カ月を切っている食品
- ・開封されている食品
- ・生鮮食品(肉類、魚介類、生野菜)
- ・冷蔵食品、冷凍食品
- ・アルコール(みりん、料理酒は除く)

令和5年4月1日採用 幸田町社会福祉協議会職員の募集

私たちと一緒に
働きませんか？



1 職種・採用予定人員・受験資格

職種	採用人員	学歴	受験資格
社会福祉総合職	若干人	大学 ・ 短大	以下を満たす人 ・昭和62年4月2日以降に生まれた人で、左記学歴を卒業または令和5年3月31日までに卒業見込みの人 ・社会福祉士資格を令和5年3月31日までに取得または取得見込みの人
介護支援専門員	若干人	大学 ・ 短大	以下を満たす人 ・昭和38年4月2日以降に生まれた人で、左記学歴を卒業または令和5年3月31日までに卒業見込みの人 ・介護支援専門員資格を令和5年3月31日までに取得または取得見込みの人

2 試験日程・会場・試験内容

試験日	会場	試験内容
11月26日(土)	幸田町福祉サービスセンター	基礎能力検査(言語、数理、論理)、職場適正検査、面接

3 試験申込み・受付期間

区分	受付期間	受付場所	備考
窓口受付	11月4日(金)まで	幸田町社会福祉協議会 (幸田町福祉サービスセンター内) 〒444-0113 幸田町大字菱池字錦田82番地 4	受付時間は、 午前8時30分～午後5時15分 (土日祝日は除く)
郵便受付			受付期間末日の消印まで有効 (消印なきものは無効)

4 そのほか

- (1) 募集要項をよくご確認の上、お申し込みください。
なお、募集要項、受験申込書などは、幸田町社会福祉協議会でお渡しするほか、幸田町社会福祉協議会ホームページからもダウンロードできます。
- (2) 提出書類(履歴書など)は、理由を問わず返却しません。

5 問合せ

幸田町社会福祉協議会 電話(0564)62-7171 FAX(0564)62-7254



幸田町社会福祉協議会では
「支え合い ともに生きる まちづくり」を目指して、
地域活動の推進や相談支援、サービス提供などを行っています。

経験者・未経験者問わず大歓迎です。
一緒に幸田町の福祉を盛り上げていきましょう！



♪ 困ったときは、おたがいさま 支え合う人たちがいる ♪

ひとりひとりの小さなお金。そのお金に「誰かの助けになりたい」という気持ちがこもって十人、百人、千人と集まれば、大きな力に変わります。赤い羽根は、小さなことをしています。小さな活動をたくさん、何十年と続けています。つまり、赤い羽根は、大きなことをしています。

意志あるお金、募金のチカラ。

赤い羽根共同募金に ご協力をお願いします



..... 募集期間 10月1日～12月31日

第74回赤い羽根協賛児童生徒作品コンクール優秀作品の展示

🍁 と き 10月12日(水)～10月19日(水) 午前9時～午後7時
(初日は午後3時から、最終日は正午まで)

🍁 ところ 幸田町立図書館ギャラリー

皆さまお誘い合わせの上、ぜひご覧ください。



問合せ 幸田町共同募金委員会 電話 62-7171

ご寄付紹介 (順不同・敬称略)

R4.6.11～R4.9.14

- 現金 ピアゴ幸田店 50,667円 アトリエジャスト近藤二吉 15,000円 (株)石原組従業員一同 6,000円
合同会社Fitnessこうた社員一同 4,500円 親子文化を育てる会 2,000円 匿名 24,575円
- 物品 (株)タケヒロ産業 竹ぼうき100本

ありがとうございました

編集・発行

社会福祉法人 幸田町社会福祉協議会

〒444-0113 愛知県額田郡幸田町大字菱池字錦田82-4
電話 (0564) 62-7171 FAX (0564) 62-7254
居宅介護支援事業所 電話 (0564) 64-1069
訪問介護事業所 電話 (0564) 83-7273
中部地域包括支援センター 電話 (0564) 62-7331
メール info@kotashakyo.jp



ホームページ
<http://kotashakyo.jp/>



この広報紙は、皆さまからの会費と赤い羽根共同募金の配分金によって作成しています。